

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

チャバネアオカメムシ越冬調査結果について（送付）  
このことについて、チャバネアオカメムシ越冬調査結果を取りまとめましたので送付します。  
防除指導の資料として御活用下さい。

チャバネアオカメムシ越冬調査（平成15年冬期）

1 調査の目的

果樹を加害するカメムシ類は果樹園外から飛来し、また年次や場所によって発生時期や発生量の変動が大きく突発的に発生する。このため、病害虫防除所ではチャバネアオカメムシの越冬調査を行い発生予察の基礎資料としている。

2 調査方法（ふるい法）

チャバネアオカメムシは、主として落葉の下で成虫で越冬するが、体色が周りの落葉とよく似た暗褐色に変化し、また動きが鈍く野外での発見は困難である。そのため、一定面積の落葉を集めてふるいにかかけ、大型ポリ袋に入れ、25℃の定温条件下に置き、4～6日後に落葉から出てきたカメムシを調査した。なお、落葉を集める場所は、チャバネアオカメムシの越冬密度が高いと思われる南向き斜面のシイ、カシなどの常緑広葉樹林を選んだ。

3 調査期間

平成15年1、2月

県下16カ所（1地点につき1m×1m×3カ所の計3m<sup>2</sup>調査）

4 調査結果

表1 県内各地点におけるチャバネアオカメムシの越冬数（単位：頭/3m<sup>2</sup>）

調査地点	H15	H14	H13	H12	H11	H10	H9	H8	H7	H6	H5	H4
熊本市河内町野出	0	0	0	0	0	0	0	23	0	2	0	1
熊本市河内町温泉	0	4	0	2	1	0	0	4	0	1	1	3
三角町郡浦	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
三角町向山	0	2	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0
不知火町大見	0	1	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0
松橋町豊福	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	1
豊野村安見	0	3	0	1	0	1	2	1	0	1	1	2
天水町赤仁田	0	2	0	3	0	1	0	1	0	0	0	1
山鹿市三玉	0	22	0	3	0	3	2	17	0	1	0	1
植木町木留	0	12	0	2	0	1	0	49	0	2	1	3
菊池市玉祥寺	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3	0	1
甲佐町寒野	0	4	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1
竜北町大野	0	1	0	2	0	1	0	1	0	1	0	5
田浦町太田	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	4
本渡市	0	10	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1
苓北町内田	2	0	0	0	0	0	0	14	1	1	1	4
合計（頭）	3	63	0	16	2	9	5	130	2	14	5	29

## 5 考察

- (1) 平成15年冬期のチャバネアオカメムシの越冬数は表1のとおりで、合計3頭と過去10年間の平年値(平成8年の多発年の値を除いた10年分の平均)14.5頭に比べ少なかった。
- (2) 果樹カメムシ類による年度前半の果樹幼果への被害は、当年の越冬数に比例する傾向にある(表2と図1)ため、新成虫が発生する前の7月下旬までのカンキツ、ナシ、カキ、モモ、スモモ等の幼果への被害は比較的少ないと予想される。
- (3) 天草地方については、過去10年間の平均値(平成8年の多発年の値を除いた)は2.1頭であり、本年は合計2頭であるので、7月までの発生量は平年並みと予想される。
- (4) 果樹を加害するカメムシ類には、その他にツヤアオカメムシ、クサギカメムシなどがあるが、越冬調査はチャバネアオカメムシのみ行っているため、その他のカメムシについては、園周辺を見回るなどの注意が必要である。
- (5) 8月以降の新成虫の発生は、餌となるスギ、ヒノキの毬果の状態に大きく左右されるが、現時点での北部九州のスギ・ヒノキ花粉飛散量は平年並みとの予測なので、スギ、ヒノキの毬果数も平年並と予想され、新成虫の発生量は平年並みと考えられる。

表2 チャバネアオカメムシの予察灯誘殺数(農産園芸研究所、100W水銀灯)

月 - 半月	14年	13年	12年	11年	10年	9年	8年	7年	6年	5年	4年
5 - 1	219	0	1	6	40	0	0		21	0	12
- 2	71	0	2	1	9	6	0		19	6	1
- 3	26	0	0	2	3	4	47		24	11	26
- 4	0	0	7	1	0	4	190		5	5	18
- 5	4	1	20	0	1	0	96		14	9	4
- 6	27	0	2	0	0	3	88		6	8	4
6 - 1	62	0	68	8	1	1	610	1	3	1	80
- 2	38	0	3	4	3	0	63	1	7	19	123
- 3	54	1	3	8	21	2	198	0	11	16	65
- 4	35	0	35	7	9	7	56	0	16	8	46
- 5	14	4	28	1	27	3	139	1	13	5	14
- 6	48	2	30	0	4	0	76	4	26	15	9
7 - 1	111	1	22	3	11	0	433	2	39	2	31
- 2	122	0	19	1	10	2	179	1	40	8	69
- 3	92	1	13	0	5	0	840	0	30	3	35
- 4	62	0	16	0	21	0	564	0	33	1	47
- 5	106	1	16	0	10	1	567	0	35	2	51
- 6	184	0	19	0	33	0	533	0	31	2	28
合計	1275	11	304	42	208	33	4679	10	373	121	663

4月はほとんど誘殺されないため、データを省略した。

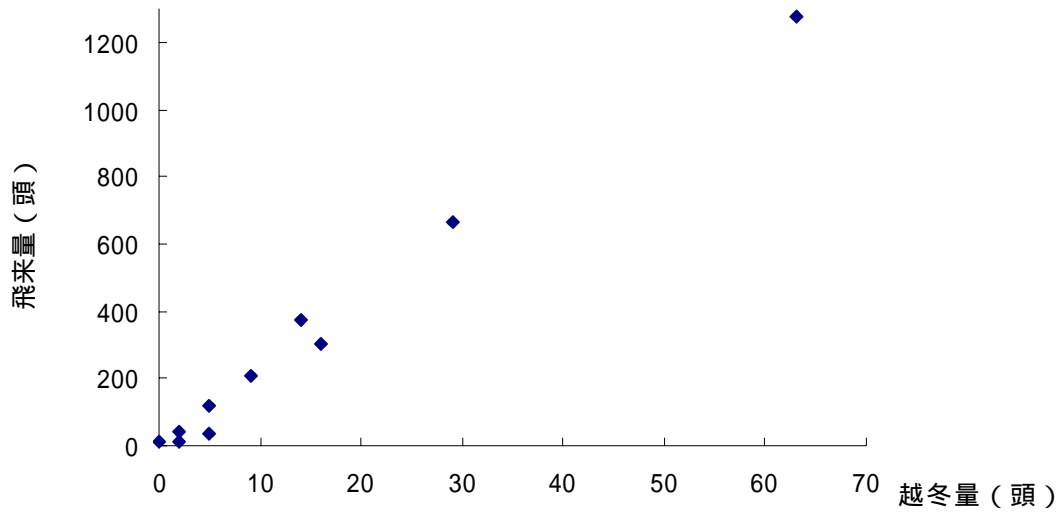


図1 千葉県初木町の越冬量と5～7月期の飛来量との関係

注 平成8年のデータを除く。

飛来量：予察灯における5～7月誘殺数（合志町）

越冬量：越冬調査16地点合計値（表1）